

生産動態

本県の生産動態統計調査の概況

昭和28年12月度分 **織 維 部 門** (調査課商工調査係)

本表は生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸和紡糸以外の紡績工場、および抽出調査工場は含まれていない。

(1) 工場、労務者及び設備運転状況

部門別	業種別	工場数			在籍従業員			設備						
		全工場	操業	操業度	男	女	計	機種	単位	運転可能	運転不能	実動	稼働率	
	総計	355	213	60	478	1,535	2,013							
紡績	特紡糸、和紡糸							紡機計	錘	25,836	21,244			
		10	8	80	34	111	145	リソグ	〃	2,216	—			
								和紡機	〃	23,620	21,244			
織物	計	306	175	57	253	821	1,074	織機計	台	1,585	66	789	50	
	綿織物	34	31	91	88	309	397	広巾織機	〃	23	3	8	35	
	絹織物	272	144	53	165	512	677	並巾織機	〃	755	22	346	46	
								小巾織機	〃	272	25	104	38	
製品	メリヤス製品							手機足踏機	〃	535	16	331	62	
		9	9	100	36	102	138	ミシン計	台	34	27	15	44	
								編機	〃	215	132	96	45	
								横編手袋以外	〃	88	5	53	60	
	雑織製品							丸編靴生地	〃	54	92	2	4	
		5	4	80	4	16	20	撚糸機	錘	1,945	—	75	4	
								製網機計	台	276	—	14	5	
	縫製品							手動製網機	〃	268	—	8	3	
								動力製網機	〃	8	—	6	75	
		21	13	62	69	453	522	電気裁断機	台	20	6	14	70	
							ミシン計	〃	770	256	279	36		
その他	製綿及び衛生材料							動力ミシン	〃	535	226	261	49	
		4	4	100	82	32	114	足踏ミシン	〃	235	30	18	8	
							梳廻綿切機	台	16	—	10	63		
								〃	40	—	29	73		

(2) 生産状況

部門別	品目別	単位	生産高			引渡高			月度末在庫高		
			当月度	前月100対比	前年同月100対比	当月度	前月100対比	前年同月100対比	当月度	前月100対比	前年同月100対比
紡績	計綿紡糸	封度	71,545	114	233	69,843	105	217	3,959	175	69
			50,400	103	336	49,500	101	324	1,800	200	1,800
			21,145	152	135	20,343	119	121	2,159	159	39

(2) 生産状況(続)

部門別	品目別	単位	生産高			引渡高			月度末在庫高		
			当年度	前月100対	前年同月100対	当年度	前月100対	前年同月100対	当年度	前月100対	前年同月100対
織物	織物計	平方碼	255,233	89	160	258,799	90	132	131,321	97	78
	綿織物	"	107,821	86	130	112,765	88	102	87,844	95	91
	絹織物	"	15,341	172	160	6,713	249	106	18,590	187	280
	絹紡織物	"	10,015	67	56	10,367	878	74	10,088	97	82
	和紡織物	"	76,970	99	225	80,375	95	174	9,861	75	21
	スフ織物	"	13,229	827	—	13,377	103	—	528	78	—
	合成繊維織物	"	31,857	66	220	35,202	75	219	4,410	57	126
	麻織物	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
製品	メリヤス生地	封度	4,138	72	79	3,754	71	63	4,768	109	135
	メリヤス製品計	打	6,676	92	146	8,309	99	167	2,967	80	108
	肌着	"	530	39	—	638	49	—	427	80	14,233
	外衣	"	—	—	—	11	73	14	13	54	30
	手袋	"	3,358	96	122	4,997	114	166	821	53	123
	靴下	"	2,788	116	159	2,663	97	140	1,706	108	84
	雑織維製品計	封度	2,547	112	63	12,903	261	156	4,102	37	76
	漁網	"	1,927	108	63	12,363	290	238	2,732	28	67
	漁具糸	"	620	124	62	540	81	17	1,370	106	115
	縫製品	学業制服	着	2,895	129	157	3,147	115	165	949	79
	作業服	"	1,644	101	2,283	1,925	133	2,601	514	65	857
	制服	"	1,225	30	25	1,230	30	25	—	—	—
	乳児及子供服	"	2,608	95	189	2,483	91	159	754	120	318
	既成服	"	2,496	58	51	2,874	61	59	566	60	137
	中衣	点	10,766	164	275	12,278	283	331	9,950	87	195
	肌衣	"	354	118	—	407	49	—	752	93	—
その他	製綿計	封度	159,996	112	128	155,368	107	133	27,465	120	109
	中入綿	"	36,548	116	129	35,143	113	123	17,733	109	473
	蒲団綿	"	123,448	111	128	120,225	105	137	9,732	150	45

註 縫製品中、校服、作業服、制服、乳児及子供服、既成服において上衣または下衣だけのものは2点をもつて1着に換算した。

(3) 生産の分析

業種別	単位	1工場当り生産高		1労務者当り生産高		業種別	単位	1工場当り生産高		1労務者当り生産高	
		当月	前年同月	当月	前年同月			当月	前年同月	当月	前年同月
和紡績工場	封度	8,943	4,386	493	246	雑織維製品工場	封度	637	808	127	162
綿織物工場	平方碼	7,415	4,677	579	455	服類	着	836	1,099	21	27
絹織物工場	"	176	151	37	57	縫製品工場	点	855	337	21	8
メリヤス製品工場	打	742	456	48	46	その他製綿工場	封度	40,000	41,681	1,403	1,624

昭和28年12月度分

雜 貨 部 門

玩具、革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、金属洋食器、赤煉瓦は全事業所

対象工場数

業 種	玩 具	革 靴	漆 器	金属洋食器	陶 磁 器	赤 煉 瓦
対 象 業 止	3 3 —	4 4 —	13 12 1	1 1 —	25 23 2	5 3 2

生産及び出荷状況 (前月対比は前月を100とする)

業 種	区 分 製 品 名	単 位	生 産 数 量			出 荷 数 量					
			数 量	前月 対比	金 額 円	国 内			輸 出		
						数 量	前月 対比	金 額 円	数 量	前月 対比	金 額 円
玩 具	金属製玩具	個	62,097	423	3,664,815	9,020	220	1,122,247	53,077	501	2,542,568
	プラスチック製玩具	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	セルロイド製玩具	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
革 靴	男子総革製靴	足	138	114	—	153	120	434,300	—	—	—
	婦人総革製靴	〃	126	93	—	150	115	329,600	—	—	—
	その他(学生学童)	〃	3	—	—	3	—	4,500	—	—	—
漆(木製器)	容器類	個	596	159	106,900	566	174	102,400	—	—	—
	食卓子膳、盆	〃	918	122	449,430	903	158	399,430	—	—	—
	食器類	〃	500	—	15,000	500	—	15,000	—	—	—
金属洋食器	スプーン	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	フォーク	〃	x	—	x	x	—	x	—	—	—
	ナイフ	〃	x	—	x	x	—	x	—	—	—
陶 磁 器	電気用品	珎	37,622	117	—	37,622	117	12,467,000	—	—	—
	特別高圧用	〃	1,111	85	—	1,111	85	1,185,000	—	—	—
	高圧用その他	〃	1,593	107	—	1,593	107	1,357,000	—	—	—
器	厨房用品(その他)	〃	94,709	91	—	112,220	106	1,369,600	—	—	—
	衛生用品(その他)	〃	57,360	122	—	53,860	110	517,950	—	—	—
赤 煉 瓦	屯	275	—	—	290	—	580,000	—	—	—	

昭和28年12月度分

機 械 鑄 物 部 門

製 品 名	生 産		出 荷		自己消費	月末在庫
	重 量 kg	金額(千円)	重 量 kg	金額(千円)	重 量 kg	重 量 kg
銑 鉄 鑄 物	147,137	7,903	132,696	7,169	14,573	15,480
01 産業機械器具用	112,386	5,970	101,560	5,435	10,383	7,380
02 繊維機械器具用	—	—	—	—	—	—
03 鉄道及車輛用	11,711	626	11,711	626	—	—
04 電気及通信機器用	8,400	504	8,400	504	—	—
05 農水産機器用	—	—	—	—	—	—
06 港湾及船舶機器用	—	—	—	—	—	—
07 雑機械器具用	—	—	—	—	—	—
08 日用品	12,038	686	11,025	604	1,588	8,100
09 鑄型及鑄型定盤	2,602	117	—	—	2,602	—
10 ロ	—	—	—	—	—	—
11 其 他	—	—	—	—	—	—

製 品 名	工場数		月間生産高	月間出荷高	月末在庫高	資材名	消費kg	月末在庫kg
	対象	操業	前月100対比	前月100対比	前月100対比	銑 鉄	59,602	83,002
銑 鉄 鑄 物	10	10	102	100.5	99	故 銑 鋼 屑	106,096 640	35,295 40

索引 番号	調査項目 製品名 用途別	生 産				其 の 他	
		青 銅 鑄 物		黄 銅 鑄 物		重 量 kg	金 額 (千円)
		重 量 kg	金 額 (千円)	重 量 kg	金 額 (千円)		
	銅 合 金 鑄 物	16,476	5,962	5,320	1,679	50	15
01	産業機械器具用	1,124	437	350	105	50	15
02	電気及通信機器用	5,091	1,927	—	—	—	—
03	鉄道及車輛用	1,468	595	600	180	—	—
04	港湾及船舶機器用	—	—	—	—	—	—
05	軸受メタル	2,975	1,061	85	25	—	—
06	管 継 手	230	69	—	—	—	—
07	バルブコック	5,088	1,723	4,200	1,344	—	—
08	建 築 用 品	—	—	—	—	—	—
09	日 其 の	—	—	—	—	—	—
10	其 の 他	500	150	85	25	—	—

製 品 名	工 場 数		月 間 生 産 高		
	対 象	操 業	重 量 kg	前 月 100対比	金 額 (千円)
銅 合 金 鑄 物	7	6	21,846	103	7,656

※ 本表の工場数は右の定義に基いたものである。銑鉄鑄物については従業員10名以上、銅合金鑄物については従業員5名以上を有する工場が調査対象となっている。

経 済

個人商工業経済調査(2)

(調査課縣勢調査係)

前号には第一期(4月~6月)分を全国のそれと対象することにしたが、なにせ調査した事業所の数が6か7では結論を出すにも出せないと言うのがいつわらざる現状である。県の経済状態を論じ、市の経済活動を表すにも、卸売及び小売業、製造業あわせて1,320事業所のうち、約10%をもつて、すなわち10事業所のうち1事業所をもつて代表させようと言うのであるから無理である。だから担当者としてもあまり内容には立入らず、只結果を掲げて読者のおもいおもいの推量におまかせしようとするものである。

調査される事業所の選定については前号ですでに述べているとおり、一事業所の調査期間は3ヶ月であるので第一期と第二期においては別の事業所であり、同じ製造業にしる内容異なるのであるから同一期間についての月別の比較は可能にしても、期別の比較は一考を要するわけである。以上のように特殊な方法で行われているものであるから読者として期別を比較される際にはたゞに収支決算表のみを眺めずして事業の内容とか家族の構成とかを参考とされて御覧になるようお願いするわけである。

統計表は卸売及び小売業と製造業にわけ、公表出来る最大限可能なところまで掲載してあるので、表中にはわかりにくい点もあると思われ、より利用しやすいようにと概略を説明すれば、

○簿記々帳の程度

Aは青色申告者又は同程度の正確な簿記々帳を行っている程度。

Bはある程度の帳簿は使用しているが営業利益の計算は行っていない程度

Cは殆んど帳簿を使用していない程度。

であるので第一期の卸売及び小売業で云えば総調査事業所7のうちAが1、Bが4、Cが2と云うことである。

○業主について、性別、男女、

調査した事業所の業主が男であるか、女であるかを表したもので、4月の卸売及び小売業で云えば男業主が6事業所、女業主が1事業所と云うことである。世帯主の地位及び家業以外の職業の有無についても同様である。

○その他については一事業所当り平均のものである。

○統計表中一は皆無をあらわす。